

【参考資料】 大江戸線延伸地域におけるまちづくりの動向について



『まちづくりアンケート（Web フォーム）』の設問にご回答いただく際の
【参考資料】として本資料をご確認ください。

1. 大江戸線の延伸について

◆大江戸線延伸の概要

- 「大江戸線の延伸」は、現在光が丘駅まで整備されている地下鉄大江戸線を土支田・大泉町・大泉学園町地域を通り、ＪＲ武蔵野線東所沢駅方面まで延伸する計画です。
- 光が丘駅から大泉学園町までの区間は約４kmで、補助２３０号線を導入空間とし、（仮称）大泉学園町駅、（仮称）大泉町駅、（仮称）土支田駅の３つの新駅を整備する予定です。

＜凡例＞

- 大江戸線既設区間
- 大江戸線延伸検討区間
- 引上げ線
- 補助２３０号線（完成区間）
- 補助２３０号線（事業中区間）

＜出典＞

大江戸線延伸にかかる
庁内検討プロジェクトチーム
〈現在の検討状況について〉、
令和７年１０月、東京都

※今後の検討の進捗により、記載内容
が変更となる可能性があります。



◆大江戸線の延伸をきっかけとしたまちの魅力向上

- 新しい駅ができることで、人の流れや暮らし方が変わり、まちの可能性が広がります。
- 区は、この機会を活かし、地域の活性化につながる駅周辺のまちづくりに引き続き取り組んでいきます。

2. 大江戸線延伸地域におけるこれまでのまちづくりについて



①大泉学園町地区（約 31.4ha）で地区計画を策定

③大泉町二丁目地区（約 19.4ha）で地区計画を策定

⑤土支田・高松地区（約 11.6ha）で地区計画を策定

②大泉町三丁目地区（約 32.8ha）で地区計画を策定

④土支田中央地区（約 14.3ha）で地区計画を策定

⑥補助 230 号線（完成済み）

⑦補助 230 号線（事業中）

3. 各駅予定地周辺で進められているまちづくりの状況について

◆（仮称）大泉学園駅予定地周辺

○平成 30 年より、商業施設の充実や公共公益施設の集約化による駅前にふさわしいにぎわいのあるまちづくりの検討を関係権利者と進めています。

◆（仮称）大泉町駅予定地周辺

○令和 7 年 8 月にまちづくり協議会を設立し、周辺道路の再編や駅前広場等の基盤整備、地域資源であるみどり等を活かした拠点づくりについて検討を開始しました。

○今後、（仮称）大泉町駅予定地周辺地区まちづくり基本構想や基本計画を策定する予定です。



「（仮称）大泉町駅予定地周辺地区
まちづくりだより」で、
検討状況をご覧くださいませ▶



<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/machi/kakuchiiki/oedo/5.html>

◆（仮称）土支田駅予定地周辺

○土地区画整理事業により駅前広場予定地を確保しています。

○地区計画決定にあわせ用途地域を変更し、商業系の土地利用を誘導しています。

〈各地図の凡例〉

駅予定地

延伸路線

駅前広場予定地

土地・建物用途

住宅

店舗併用住宅

商業施設

業務施設

宿泊・娯楽・遊戯施設

工場・運輸倉庫施設

農業施設

公共・文教厚生施設

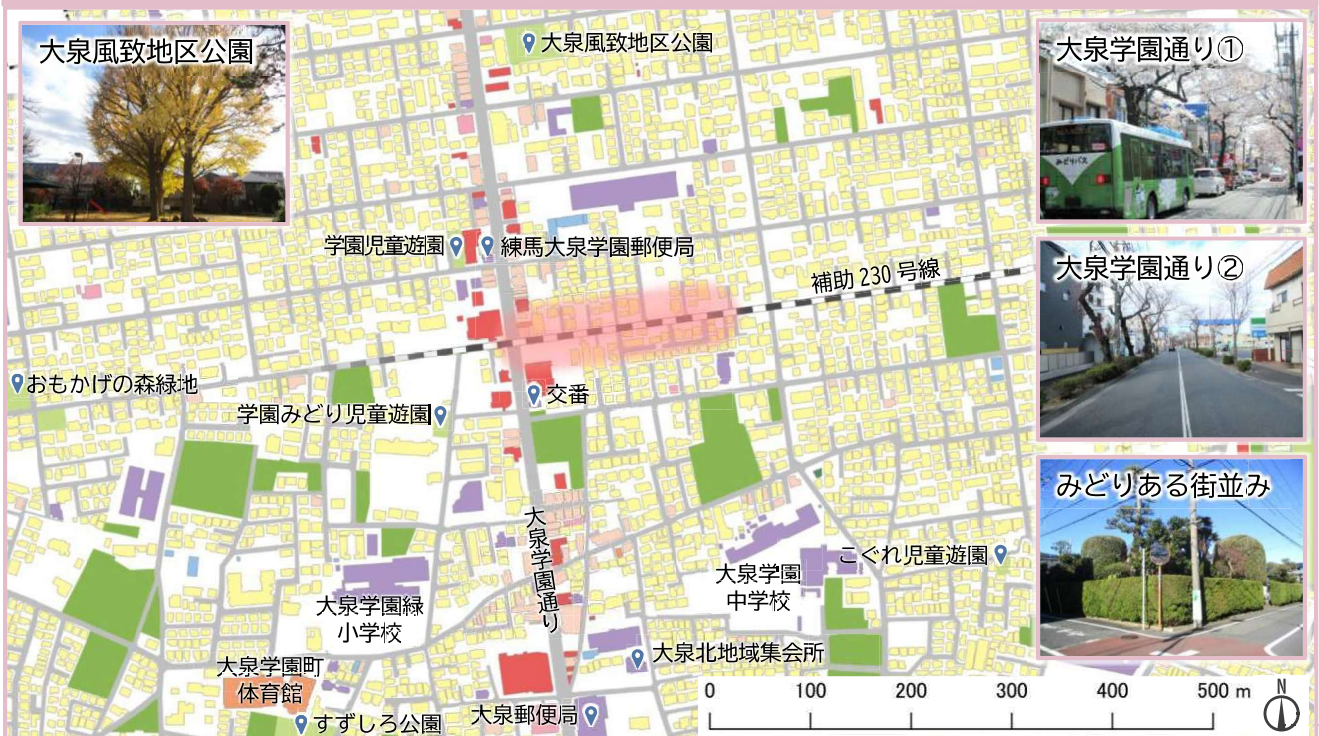
公園・運動場

農地

道路

※駅の位置に関しては、今後の検討の進捗により、変更となる可能性があります。

（仮称）大泉学園町駅予定地周辺の現状



4. 大江戸線延伸地域のまちづくりの経緯について

時期	大江戸線に関する経緯	関連する事業等
昭和 47 年	・都市交通審議会「東京圏高速鉄道網整備計画」答申第 15 号	
昭和 60 年	・運輸政策審議会答申第 7 号 光が丘～大泉学園町間追加	
昭和 61 年	・練馬～光が丘間 着工	
昭和 63 年		・大江戸線延伸促進期成同盟 設立
平成 2 年	・新宿～練馬間 着工	
平成 3 年	・練馬～光が丘間 開業	
平成 4 年	・西新宿（都庁前）～新宿間（環状部） 着工	
平成 9 年	・新宿～練馬間 開業	
平成 12 年	・運輸政策審議会答申第 18 号 光が丘～大泉学園町間：A2 路線 (A2 路線：目標年次までに整備着手することが適当である路線) ・全線 開業	
平成 17 年		・土支田中央土地区画整理事業 着工
平成 18 年		・補助 230 号線 事業認可 (笹目通り～土支田通り区間)
平成 19 年		・土支田・高松地区地区計画 決定
平成 20 年		・土支田中央地区地区計画 決定
平成 21 年		・補助 230 号線 事業認可 (土支田通り～外環道区間)
平成 22 年		・補助 230 号線 事業認可 (外環道～大泉学園通り区間)
平成 23 年		・大江戸線延伸推進基金 設置
平成 25 年		・補助 230 号線 交通開放 (笹目通り～土支田通り区間)
平成 27 年	・広域交通ネットワーク計画について（東京都）	・東京都との実務的協議 開始
平成 28 年	・交通政策審議会答申第 198 号 光が丘～大泉学園町間 ⇒進めるべき 6 つのプロジェクトの一つに位置付け	・大泉三丁目地区地区計画 決定
平成 29 年		・大江戸線延伸推進会議 設置
令和元年	・「未来の東京」戦略ビジョン（東京都） ⇒調整が整った路線から順次事業に着工 ⇒大江戸線：関係者と事業化について協議・調整を進める	
令和 2 年		・補助 135 号線 事業認可 (補助 230 号線交差部)
令和 3 年	・「未来の東京」戦略（東京都）	・補助 230 号線 交通開放 (土支田通り～別荘橋通り区間)
令和 4 年	・主要事業に「地下鉄 12 号線（大江戸線）の延伸に関する調査」と明示した調査費を計上	・大泉学園町地区計画 決定 ・土支田中央土地区画整理事業 完了
令和 5 年	・副知事をトップとする「大江戸線延伸にかかる庁内検討プロジェクトチーム」設置 ⇒課題解決の方策や今後の進め方についてスピード感を持って検討を深めていく	・大泉町二丁目地区地区計画 決定
令和 7 年	・「2050 東京戦略」（東京都） ⇒大江戸線延伸の検討を深度化することを示す ⇒関係者と事業化について協議・調整を進める ・大江戸線延伸の事業化に向けた検討結果を公表（東京都）	・（仮称）大泉町駅予定地周辺地区まちづくり協議会
令和 8 年	・「大江戸線延伸－沿線まちづくりデザイナー」を策定予定	



『まちづくりアンケート（Web フォーム）』へのご回答をお願いします。